

平成 24 年度第 1 回宮崎市総合計画審議会 議事録（要約版）

事務局：定刻になりましたので開催します。会議に先立ちまして、委嘱辞令の交付を行います。

【委嘱辞令の交付】

事務局：続きまして、戸敷市長がごあいさつ申し上げます。

市長：第 1 回宮崎市総合計画審議会の開催にあたり、一言ごあいさつ申し上げます。

皆様方には、審議会委員就任につきましては、快くご承諾いただきましたことに心からお礼を申し上げます。また、大変お忙しい中、本審議会にご出席いただき、重ねてお礼を申し上げます。

第四次宮崎市総合計画は行政運営の指針であり、将来の都市像を「活力と緑あふれる太陽都市～みやざき～」としています。

この計画は基本構想と基本計画の二部構成となっており、このうち前期基本計画の計画期間が今年度で終了することとなります。

本市は、平成 18 年に 3 町と合併、平成 22 年には清武町と合併し 40 万都市となり、県都としてリーダーシップを取らなければなりません。

前期基本計画の期間中、口蹄疫や新燃岳の噴火、鳥インフルエンザ、そして東日本大震災などが本市にいろいろな影響を及ぼしました。

少子高齢化が加速し、今後の 5 年間の計画が必要である。計画策定にあたっては、子どもたちが将来に夢や展望を持つような計画としたいと考えています。

委員の皆さんには、今日を含めて 5 回の審議をしていただき、住民と行政が一体となり 40 万スクラム都市としての方向付け、大きな目標となる総合計画について、皆さんの叡智とご指導、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

【出席者紹介】

事務局：宮崎市総合計画審議会条例第 4 条第 1 項の規定に基づき、会長並びに副会長の選任をお願いします。規定では互選となっておりますが、いかがいたしましょうか。

委員：事務局から何か提案はないか。

事務局：事務局案としては、会長を宮崎大学教育文化学部長の兒玉委員に、副会長を県保育連盟副理事長の横山委員にお願いしたいと考えておりますがよろしいでしょうか。

委員全員：異議なし

事務局：兒玉委員、横山委員、よろしく願いいたします。

ここで、市長から会長に第四次宮崎市総合計画に係る諮問を行います。

【市長から会長へ諮問】

事務局：兒玉会長にご挨拶をお願いします。

会長：委員の皆様、おはようございます。ただいま会長に推挙いただきました兒玉でございます。

市長のお話にもありましたように、第四次総合計画が丸四年を迎えたということで、後期基本計画の策定にかかる諮問を受けたところです。

委員のみなさまの貴重なご意見をベースとした後期基本計画の策定に努めたいと思いますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

事務局：ありがとうございました。

会議を始めますが、本日は 26 名中 24 名の出席をいただいていることから、本日の会議は成立していることを報告します。

会長：本日の審議事項は 3 点。基本的には事務局からの説明をいただき、委員で協議することになります。最初に概要について事務局より説明をお願いします。

資料 1 & 2 説明 質疑なし

資料 3 説明

委員：24 年度目標値は、清武町が入っていないというような理解でよいか。

事務局：24 年度目標値は清武町と合併する前の数値であり、清武町分は入っていない。

委員：1 ページの個別目標 1 「課題解決に向けた地域自治区会議の事業数」をサンプルに、基本的なことをお聞きしたい。

全体の指標と呼ばれるものには、アウトプットとアウトカムが混在しているのではないか。

事業数は成果指標というより、事業の結果というべきもの。成果については、課題解決された、というアウトカムで記載すべきではないかと思う。アウトカムで評価しているのか、アウトプットで評価しているのか、それとも混在しているのかお聞きしたい。

事務局：ご指摘のとおり、成果指標については、アウトカムとアウトプットが混在している。

行政が実施した事業でできるだけアウトカムで設定したいと思っているが、アウトカムで表すことが難しいものもあり、混在している状況である。

委員：アウトプットで評価できるものもあるが、行政は課題解決が目標であり重要と思う。

会長：なかなか難しい点があるかと思う。数値で出されている点をどうするか、審議する上でも今後アウトカムとアウトプットの話があると思う。

委員：「まちづくりリーダーの育成」という項目について、前期のふり返りが表現されていないのではないか。

地域振興部長：項目については成果指標としては、具体的なものは示されていない。

成果としては、まちづくり推進員の委員の研修等により、モチベーションや資質の向上が図られていると考えている。

委員：結果の評価の記録というのが必要と思う。そのようなものを積み重ねた結果として、評価が明確になってくるのではないか。今の説明だと評価だけを感じ取っている気がする。

会長：「まちづくりリーダーの育成」についてどのように施策が推移したのか説明いただきたい。

また、成果指標についても説明いただきたい。

地域振興部長：全体的なことになるが、内部的には整理できており、本日、説明しているものは代表的なものと考えている。

委員：このことが今後、総合計画を策定していくうえで不可欠な条件になってくると思う。

数値目標を設定しなくても、具体的にどういうことをやって、その結果がどうなったのかをふり返っていただきたい。

資料4 説明

会長：市民意識調査の分析について報告いただいた。私たちも後期基本計画を策定していくうえで、市民の声や意識については共有しておくべきである。

委員：10 ページの一番下であるが、29 番は経年的に増加し、30 番は逆に減少している。

この結果を計画策定の中でどのように読み解いていくのか、基本的な考え方を教えていただきたい。実際には、読み解かないと施策につながらない部分もある。

事務局：それぞれの主要施策についてご意見を踏まえながら、現在の主要施策をもとに前期基本計画を見直すことになる。

分析については、一つ一つを分析し、その結果を第2回以降にお示ししたい。

会長：個々の項目については理解できるが、つながりを考えると説明できないものもある。

委員：資料作成の際、市民の考えと前期基本計画の相違があったもの、大きくずれているものがある。

れば示していただきたい。

それぞれの資料に意識調査の結果が入っていれば良い。事前に送付していただきたい。

会長：市民の方々の意識と施策とのずれについて顕著なものがあれば教えていただきたいということです。

事務局：第2回以降の資料は個別に修正したものをお示しし、ご説明させていただく。

委員：調査は大変な作業だと思いますが、無作為抽出で3000人の人に調査された結果、年齢を見ると、年配の方の解答が多い。

無作為であるので、年代で配布しているのかどうか分かるのか。20歳代以下の回答者が7%で、表では見て取れないが、若い人の回答について実態把握していると思う。

これから宮崎市が伸びていく上で、若い人の考えも今以上に取り入れていただきたい。

会長：調査対象は無作為であるが、解答の年齢層が偏っているので、若い人の意見も反映していただきたいということです。

事務局：現在の市の年齢構成に基づき、アンケート調査票を送っている。

年齢層は著しく偏ることがないようにしており、回答結果をお示ししている。

委員：審議会にもう少し若い人を加えていただければと思う。

5年先、10年先の計画であり、若い人の比率だけでなく、30歳代以降を少し増やして取る必要があるのではないか。この場ではなくて、若い人が将来の宮崎市を考える場を教育委員会などでやっていただければ良いと思う。

会長：若い人の意見を反映させていただける方策を考えていただければということです。

事務局：宿題として預らせてください。

委員：要望ですが、今回は第1回なので、ふり返りであるとか、これからの5年間でどのようなビジョンで施策を進めていくべきかということと、意識調査等の説明があった。

次回から、各論を議論するにあたり、資料作成が膨大であろうが、特に、重視して議論すべき点を柱立てになるようなものを事前にしていただきたい。

各委員も事前に学習したうえで会議に出席いただくと、意見も出しやすいし、議論も深まってくると考える。

「資料はこうですよ」という配布ではなく、協議の柱立てを整理してもらって、事前学習の準備を各委員にお願いするという進め方でやっていただきたい。各委員が論点を焦点化して、会議に臨めるよう要望する。

事務局：資料の事前配布にあたって、論点が分かるものをお願いしたい。

委員：ちょうど画面が出ているが、配布された資料に平均値 2.25 と載っている。15 ページのグラフでは、満足度平均値 2.38 となっているが説明いただきたい。

事務局：スクリーンの数値について、資料 17 ページを見ていただきたい。

下の方にグラフとしてまとめて、平均値を出しランク付けしている。スクリーンは 17 ページの資料そのものでなく、分析したものを出している。

15 ページについては、取り組みの満足度と重要度について分析したものであり、17 ページは 15 の目標の進捗度を市民がどのように考えているかというものである。

満足度、重要度、そして進捗度の 3 つの結果を出している。

委員：画面データを出していただいた方が良い。17 ページでは分かりづらい。

委員：15 ページのグラフであるが 100 番がなく、101 番が重複しているので確認していただきたい。

事務局：修正したものを送付させていただく。

会長：次回までに送付いただくということをお願いしたい。

委員：資料 2 ページに記載している年齢や男女比率について、前回の調査結果との比較を確認させていただきたい。過去の結果と整理いただければ傾向が見えるのではないか。

事務局：改めて資料を送付するが、お手元の総合計画の 163 ページを見ていただくと、傾向としては 40 歳代からの回答が多く、今回と似たような傾向になっている。

会長：よろしいでしょうか。

委員：基本構想は「活力と緑あふれる太陽都市」となっているが、調査結果を見ると、「重要だけどやや満足度が高い」のは経済部門が多いと思っている。

経済は「活力」に十分につながっていくところであるので、個別目標で強化するべき。宮崎は台湾と航空がつながっており、アジアに目を向けた戦略があると地元企業の活性化につながる。

企業誘致は雇用を確保するうえで大切であるが、地場の産業の経営機会を奪ってはいけないので、地場の企業が外に目を向けていくような施策が必要と考える。

「緑あふれる」となっているが、緑があふれるような個別戦略としては弱いと思う。個別戦略ももう少し強化していただくとよいと思う。

会長：将来の都市像についてももう少し具体化していただきたいということである。

委員：これから資料作成していただくときに、要望であるが、資料2の12ページ、13ページにふき出しがあるが、これをもう少し透明にさせていただき、下の文章まで分かるようにして欲しい。

また、先程もあったが、色で判断する場合には、モノクロでは誤解を招くので、その横に番号をつけるなど工夫していただくと良いか。

会長：資料についてももう少し見やすくという御要望です。

委員：過去のものとして、総合計画の166ページなどを見ているが、このときの167ページに出ている満足度と重要度との指標の番号と今回と違っており、単純に比べられない。

1回目と2回目の位置関係を知りたいので、次回もこのグラフを送っていただければ、番号をあわせていただきたい。

事務局：調査項目については増減があり合わせることができない。経年の資料は別に作ってお送りする。

会長：他に意見はございませんか。それでは、事務局にマイクをお返しします。

事務局：事務連絡が2点あります。

次回審議会は6月28日木曜日、10時からを予定しています。改めて文書で通知しますが、委員の皆様にはスケジュール調整をお願いします。

また、「第四次総合計画後期基本計画に係るご意見・ご質問」を配布している。本日の会議内容を含め、意見等ありましたら、ファックスなどでご連絡ください。

以上で、本日の会議を終了します。ありがとうございました。